第 2017-04 号

恵みと真理のニュース

2017 年 1 月の四次　恵みと真理教会
韓国 京畿道 安養市 萬安区 安養路 193 / ☎82-31-443-3731 / www.gntc.net

［証］ 私を偶像崇拝の罪から救ってくださり、主を信じ頼るように導いてくださった神様の恵みと愛に感謝します

結婚してみたら9代の長孫の嫁でした。新婚の良い夢もなくて結婚してまもなく苦労が始めました。特に一年間の小さい祭祀を準備をして多くの苦労とわずらわしさが言葉で表現できないほど大変でした。特に年末になると様々な祭祀のため料理を作るため何日間続けて客を接待しなければならなかったです。
このように偶像崇拝をした家が結局滅びてソウルに引っ越しました。どのように生きるべきか生きる理由もなかった私にイエス様を信じていた親戚が毎日のように伝道して教会に行こうと誘いました。教会に行ったらとても良かったです。イエス様を受け入れて神霊な神様の御言葉を聴いてそのうんざりした祭祀をもうしなくなって嬉しかったです。
いとこのお兄さんの助けで食堂をしました。24時間が足りないほど忙しくても主日礼拝と金曜祈り会と朝祈り会まで熱心に参席しました。疲れる時でも礼拝に参席して説教を聴き切に祈って賛美をすると大きい慰めと力になりました。そうして神様に対する私の信仰が強くなりました。
　歳月が経って、結婚した長男の夫婦関係が悪くなって私が心が苦しかったです。長男の夫婦がよくケンカをして結局離婚の話までして、ついに離れて住むようになりました。私は神様に涙を流しながら祈りました。"神様、息子の夫婦が仲良くなるようにしてください。1年間離れている間家庭の大事さと責任を悟るようにしてください。神様、息子の家庭を信仰と愛の家庭でよく導かれなかった私を赦してください。一年後にはもっと良い家庭になるように導いてください。"
このように祈った後、二人の孫の面倒をみました。ちょうど一年になった時、そんなに固かった嫁から電話が来ました。夫婦が一つになって仲良く生きると赦してくださいとしました。電話を受けてとてもうれしくて神様に感謝の礼拝をしました。神様の恵みに感謝して賛美して祈るときに涙が止まらなかったです。そして個人事業をする二番目の息子のから連絡が出来なかったです。今まで事業で苦難があって結局事業を辞めた話を聞きました。次男は大きく落胆してお酒をたくさん飲んで嫁と離れて暮らしているとしました。私は慈しみ深い父なる神様に息子の信仰のため祈りを捧げました。イエス様を信じて助けて導いてくださる恵みの中で生きるように祈り願いました 。
祈りをしたある日、連絡が出来なかった息子から連絡が来ました。教会に通っていて教会で用意してくださった所で暮らしているとしました。真で驚くな事でした。事業をする間私が続けて福音を伝えたがまったく耳を傾けなかった息子が今は神様に礼拝をしていると聞いてすごくうれしかったです。この世の中で何よりもイエス様を信じて相変わらず主を畏れて委ねる生活をするのが福だと慰めと励ました。そうすると、神様が生きる道を開いてくださり、助ける手も与えてくださると祝福しました
ソウルに住む娘は神様の恵みと愛を体験して熱心に信仰生活をしています。仕える教会で聖徒のため奉仕して福音化のため祈って私の心がとてもうれしくて大きい力になります。しかし、まだ救われない子供と家族のため涙を流しながら祈っているので神様が救ってくださることを確信します。わたしを愛し、わたしの戒めを守る者には、幾千代にも及ぶ慈しみを与える。（申命記5：10）"だから、言っておく。祈り求めるものはすべて既に得られたと信じなさい。そうすれば、そのとおりになる。"（マルコによる福音書　11：24）という御言葉のようになると信じます。
私は今、 心はやりたい奉仕が多いですが、年を取って 体が弱くなって主の事をよくできません。しかし、私に永遠な命をくださった神様の恵みが多くて感謝する心で伝道と奉仕をしています。区域長になる私より年上の97歳になる執事を仕えながらともに区域礼拝を捧げて、区域長祈り会では福音伝道のため祈っています。祈りに参席できないと心が不便になって体が悪くても礼拝に行きます。ほかの区域長と共に教会の目標と当会長の牧師の使役のため区域聖徒のため伝道の実りのため集まって祈って賛美するのがとても楽しいです。毎週木曜日は教区の伝道をするのも大きい楽しむことでした。伝道して帰ってくると心が良くて気分も良くなります。膝が痛くて歩く時に 足をひきずることになってもし、迷惑にならないのではないか心配になっても伝道しないと心がむなしくなります。それで、いつも木曜日の朝になると教区長に"今日はどこにいきますか？"と電話をします。しかし、最近は伝道を行けなくて祈りだけしています。神様が健康を与えてくださり、主が呼ばれる日まで熱心に伝道したいです。父なる神様、感謝します。ハレルヤ！！

［信仰コラム］ 捨てられた人々

"．．．あなたが主のことばを捨てたので、／主もまたあなたを捨てて、王の位から退けられた」。"（サムエル上 15:22、23）

人生において最も悲しくて恐ろしいことは神様に捨てられることです。人生に最上の知識と知恵は神様に捨てられずに神様の助けを受けながら生きることです。聖書には神様に捨てられた人々に関する記録を通じて神様に捨てられる理由と共に神様の保護の下で生きる道を教えてくれています。
第一は、人類の祖先が神様に捨てられた事件です。
エバが悪賢い蛇の誘惑に陥って神様が食べてはならないと言われた善悪を知らせる木の実を食べて自分と一緒にいる夫アダムにもあげたので彼も食べました。神様の命令を逆らって犯罪者になったアダムとエバはエデンから追い払われて神様が予告なさった通りに人間は死を免れることができなくなりました。神様に捨てられた存在になりました。しかし、誰でもイエスキリストを信じると救いを得ます。捨てられた者が神様の迎接を受ける恵みを被るようになります。数多くの人々が無神論的な人本主義者にまたは、自分が願う対象を神に扱って仕える偶像崇拝者として生きていきます。このような人々に対してローマ書 1 章 28 節に"そして、彼らは神を認めることを正しいとしなかったので、神は彼らを正しからぬ思いにわたし、なすべからざる事をなすに任せられた。"と記録されています。
第二は、カナンを探知してきた回し者達が捨てられた事件です。
カナンの地を探知してきた回し者達が民に報告しました。果たしてカナンの地が乳と密の流れる地だという事実を確認して感じたことは 12 人全て同一であったが、カナンの地占領に対しては見解が異なりました。ヨシュアとカレブを除いた 10 人の回し者の否定的な報告を聞いて
イスラエルの民達は神様とモーセを恨みながら一晩泣き、挙げ句の果てモーセを捨てて他の指導者を立てエジプトに帰ろうと叫びました。彼らの行為は"乳と密の流れるカナンの地をあなたがたに与える"と言われた神様のお言葉を蔑視したことです。彼らは神様に捨てられてその日から 38 年を広野で迷い全員死にました。また、神様が 10 人の回し者に直ちに災いを下り死なせました。
第三、イスラエルの初代王であるサウルが神様から捨てられた事件です。
予言者サムエルがサウル王に"今、行ってアマレクを撃ち、そのすべての持ち物を滅ぼしつくせ。彼らをゆるすな。男も女も、幼な子も乳飲み子も、牛も羊も、らくだも、ろばも皆、殺せ"と言われた神様のお言葉を伝えました。しかし、サウルはアマレク人々を滅ぼす中でアマレクの王を捕まえたが殺しませんでした。そして、羊と牛の最も良いことと脂気が多いこと、子羊と全ての良いことは残して価値がなく、低いことだけを滅ぼしました。サウル王にサムエルが"あなたが主のことばを捨てたので、／主もまたあなたを捨てて、王の位から退けられた"と決定的な宣告を宣言しました。
第四は、イエス様が再臨なさる時に捨てられる人に関して調べてみましょう。
マタイによる福音書 24 章に"そのとき、ふたりの者が畑にいると、ひとりは取り去られ、ひとりは取り残されるであろう。ふたりの女がうすをひいていると、ひとりは取り去られ、ひとりは残されるであろう。"と記録されています。ここで取り去られてまた、取り残される人とは信者と不信者を指すだけではなく真実な信者と名前だけの信者を区分することであります。
イエスキリストを信じない人は捨てられた状態にあります。神様の言約を不信頼して神様に向いて恨んで不評する人は捨てられます。神様が定められて命じられた通りに神様に仕えず自分の方式で仕える人は捨てられます。救いの信仰がなくただ、趣味や教養あるいは宗教人として生きるために教会に通う人は捨てられます。神様から捨てられた人生が神様の迎接を受ける道はイエスキリストを信じる道だけです。

「チョヨンモク牧師先生の信仰コラム‘緑の牧場、清い川’本の語り中」

神様が責任を負います

恵みと真理教会 **チョヨンモク** 牧師

ある方からこんな質問を受けた事があります。“神様に任せます。 神様が責任を負ってください。” と祈るとか “神様が責任を負ってくださるのを信じます。” と言うのが理にかなっていますか? という質問です。 人間が行った事を神様が責任を負うということは理にかなっていないです。 ところで実際では神様が責任を負ってくださるとか責任を引き受けて解決します。 まことに驚くべきで感謝する事です。今日は神様が責任を負ってくださる場合に対してよく見ます。

第一は、神様の御旨の通りに行えば神様が責任を負います。

私たちが神様の御旨が分かるようになる場合が三種類あります。 第一、神様が人の考えや意思にかかわらず特定の個人や多数に直接知らせてくださる場合です。 神様がノアに神様の洪水の審判に対して予告しながら箱舟を予備するようになさったのがここに当たります。 第二、聖書を読んで分かるようになる場合です。 聖書を詳らかに解いて教えることをきくので分かるようになることもここに当たります。 第三、神様に問い合わせて分かるようになる場合です。条件を提示して尋ねたりするが概して祈祷として尋ねます。
条件を提示して神様の御旨を確認した事例が旧約聖書の士師記 6 章にあります。 ミデアンの人々の収奪によってイスラエル人々の生が疲弊されました。 イスラエル人々が神様に叫んだら神様がイスラエルを救われしようと決心しました。 神様の天使がギデオンに現われて伝えるのを “「大勇士よ、主はあなたと共におられます」。ギデオンは言った、「ああ、君よ、主がわたしたちと共におられるならば、どうしてこれらの事がわたしたちに臨んだのでしょう。わたしたちの先祖が『主はわれわれをエジプトから導き上られたではないか』といって、わたしたちに告げたそのすべての不思議なみわざはどこにありますか。今、主はわたしたちを捨てて、ミデアンびとの手にわたされました」。主はふり向いて彼に言われた、「あなたはこのあなたの力をもって行って、ミデアンびとの手からイスラエルを救い出しなさい。わたしがあなたをつかわすのではありませんか」。 ギデオンは主に言った、「ああ主よ、わたしはどうしてイスラエルを救うことができましょうか。わたしの氏族はマナセのうちで最も弱いものです。わたしはまたわたしの父の家族のうちで最も小さいものです」。主は言われた、「しかし、わたしがあなたと共におるから、ひとりを撃つようにミデアンびとを撃つことができるでしょう」。ギデオンはまた主に言った、「わたしがもしあなたの前に恵みを得ていますならば、どうぞ、わたしと語るのがあなたであるというしるしを見せてください。” とおっしゃいました。 ギデオンは奇跡を見せてくれと要請しました。
天使が杖の先を盤石の上にあるギデオンの肉と麹ないパンに付いたから、その盤石で火が燃えて肉と麹ないパンを燃えました。 ギデオンは初めて確信を得るようになりました。 ギデオンが軍隊を募集したら軍隊が集まって来ました。
ギデオンが神様の御旨を再確認するために奇跡を要請しました。 打作の庭先に羊毛一塊を置いて露が羊毛にだけあって地が皆乾けば、神様のお言葉どおり自分を通じてイスラエルを救われる列で分かると言いました。 翌日ギデオンが早く起きて羊毛で露を絞るから水が皿にいっぱいになりました。 ギデオンが神様にもう一度要請するのを羊毛は乾いて地の上にだけ露が降らせてくれと言ってしました。
その晩、神様がそのまましました。 神様の御旨を確信するようになったギデオンは選発された 3 百人の勇士を導いてイナゴ群れのように多くのミデアン人々を打って勝利を得ました。ギデオンは神様の御旨が分かってその御旨どおりミデアンを攻撃したからたとえ 3 百人の軍隊を連れて争ったが神様がそのけんかで勝利するように責任を負ってくださいました。 私たちが決めた奇跡を神様に要求して神様の御旨を確認するようになる体験をすることもできるが、神様に祈りながら神様が私たちに現わすサインを注意深くよく見て神様の御旨を悟って分かることが普遍的な方法です。 神様の御旨が分かってその御旨どおり行えばその結果を神様が責任を負います。

二番目は、神様に切に祈って行えば神様が責任を負います。

祈祷は自分の考えと要求と計画を神様に知らせる卓越な手段です。 神様に万事を申し上げれば神様がその人に関心を持って察します。 もし不足で仕事を誤る事があっても神様が責任を負います。 神様が私たちに祈りなさいとこまごまおっしゃった理由がここにあります。 “「地を造られた主、それを形造って堅く立たせられた主、その名を主と名のっておられる者がこう仰せられる、わたしに呼び求めよ、そうすれば、わたしはあなたに答える。そしてあなたの知らない大きな隠されている事を、あなたに示す。”（エレミヤ書, 33:2,3）としました。聖書エステル書に見ればアハスヘロ王がペルシアを統治する時に奸悪な総理大臣 ハマンの悪巧みでユダヤ民族が滅絶の危機にあいました。ハマンの悪巧みを王に知らせて民族滅絶の危機を免れることができる位置にいる人は王后エステルしかなかったです。 王后エステルはユダヤ人だったが出身身分を明らかにしなかったです。 エステルは早く親を失っていとこお兄さんモルデカイによって養育されました。 モルデカイはエステルを自分の娘のように養育しました。 モルデカイはユダヤ人に迫って来た絶体絶命の危機をエステルに知らせました。 この消息をきいてエステルは大きい衝撃を受けたが自分の現在の立場としては王に進むことができない立場を使いを通じてモルデカイに伝達しました。 モルデカイは非常に強くて断固たる答を送りました。 “王后が黙っていらっしゃればユダゃャ人は他の所から救われることと救出を得るはずであるが、王后と王后のお父さん家は滅亡するでしょう。 王后が王后の座席を得たことがこの時のためか誰が分かりますか?” と言いました。 するとエステルがモルデカイに回答しました。 “「あなたは行ってスサにいるすべてのユダヤ人を集め、わたしのために断食してください。三日のあいだ夜も昼も食い飲みしてはなりません。わたしとわたしの侍女たちも同様に断食しましょう。そしてわたしは法律にそむくことですが王のもとへ行きます。わたしがもし死なねばならないのなら、死にます」。” そして結局ユダゃ民族は滅絶をまぬかれるようになったし返ってハマン一族が滅絶にあいました。 神様に訴えれば神様が問題を引き受けて解決します。

三番目は、神様の口約束を信じれば神様が責任を負います。

私たちの信仰は神様の口約束に根拠した信仰ではなければなりません。
“神はそのひとり子を賜わったほどに、この世を愛して下さった。それは御子を信じる者がひとりも滅びないで、永遠の命を得るためである。” （ヨハネによる福音書 3:16）しました。 “イエスは彼に言われた、「わたしは道であり、真理であり、命である。だれでもわたしによらないでは、父のみもとに行くことはできない。” （ヨハネによる福音書 14:6）しました。 “この人による以外に救はない。わたしたちを救いうる名は、これを別にしては、天下のだれにも与えられていないからである」。”（使徒行伝 4:12）しました。 “わたしたちは、御子にあって、神の豊かな恵みのゆえに、その血によるあがない、すなわち、罪過のゆるしを受けたのである。”（エペソ人への手紙 1:7）しました。 このお言葉を信じる人々は神様が責任を負って救われします。 聖書に記録されている神様の約束のお話をお聞きする屈強に信じてください。 “ 恐れてはならない、わたしはあなたと共にいる。驚いてはならない、わたしはあなたの神である。わたしはあなたを強くし、あなたを助け、わが勝利の右の手をもって、あなたをささえる。”（イザヤ書 41:10）しました。 神様の口約束を信じれば神様がその信仰が正しかったということを責任を負って証明します。

四番目は、神様の命令に従順すれば神様が責任を負います。

神様が責任を負ってくださる生活をするためには神様の命令に従順しなければなりません。聖書にはこれを証明する示しで一杯です。
ヨシュアは良い示しです。 彼はガナアン地を一緒に探知して帰って来た人々が絶望的な報告をすることをあげました。 その報告をきいて民が気落ちして泣きわめいてモセと神様を恨むことを見ました。 ヨシュアは自分の服を裂いて民に “もし、主が良しとされるならば、わたしたちをその地に導いて行って、それをわたしたちにくださるでしょう。それは乳と蜜の流れている地です。ただ、主にそむいてはなりません。またその地の民を恐れてはなりません。彼らはわたしたちの食い物にすぎません。彼らを守る者は取り除かれます。主がわたしたちと共におられますから、彼らを恐れてはなりません」。”（民数記 14:8,9）で言いました。 ヨシュアは神様のお言葉を徹底的に従順すれば神様がすべての難関を責任負って解決してくださるということが分かりました。 ヨシュアはこの原理をすべての事に適用しました。 そしてヨダン江の流れが止めるようになって民がヨダン江を無事に渡る奇妙な事を体験しました。 神様のお言葉のどおり従順してジェリコ城を旋回したら難攻不落のジェリコ城が崩れる不思議な事も体験しました。 ヨシュアは “神様のお言葉に従順すればそれによって当面する問題は神様が責任を負ってくださる。” このことを見せてくれる証人になりました。

神様の御旨の通りに行えば神様が責任を負います。 神様に切に祈って行えば神様が責任を負います。 神様の口約束を信じれば神様が責任を負います。 神様の命令に従順すれば神様が責任を負います。 皆さんは神様が責任を負ってくださって、責任を引き受けて解決してくださる体験によって喜んで感激しながら生きて行くように願いします。